

## 臨床研修導入の計画策定を支援しています

臨床研修を受ける研修生がいても、ガイドラインに定められた条件を満たしていなければ臨床研修を実施することができません。また、自施設だけで実施することが難しいと予測される小規模の病院は、省レベルの大規模の病院と協力して実施する必要があります。このように、臨床研修を実施するためには、病院だけでなく地域全体で準備を整える必要があります。

そのため、今回は日本から招いた深谷専門家が中心となって、ドンナイ省とビンディン省を訪問し、保健局担当者とともに病院を視察して、臨床研修の導入計画を検討することを目的に看護部長はじめ関係者と協議を行いました。

病院職員の採用の仕組み上、新卒看護師の採用時期を病院が決めることはできず、新卒看護師の採用は突然知らされることが多いこと、年間数人ずつ複数回にわたって採用があることなどのベトナム特有の問題から、研修の年間計画をどのように立てて良いのか分からないという悩みを持った看護部長もいました。また、演習モデルやシミュレーターを持っている病院は多くなく、指導者が手作りしたり、市販の人形を代用したりしていることなどがわかりました。

資源(ヒトモノカネ)に限られる中、各地域でどのように臨床研修制度を展開していくのか、視察、協議結果に基づいて保健局担当者と協力して臨床研修導入の具体的な計画の策定を開始しました。このような活動を通して、日本人専門家から研修制度を地域で展開するためのノウハウもお伝えしています。



(右) 訪問先での記念撮影(左から3人目が深谷専門家)  
(左上) 手作りの木製注射演習モデル  
(左下) 市販の人形にチューブを取り付けた手作りの注射演習モデル